

登録番号	プロトコール名			
C85-141	B細胞リンパ腫 再発難治 R2(リツキシマブ+レナリドミド)療法 C1			
診療科	血液内科	1クールの日数	28日	
審査日	2020年5月18日	所要時間	185分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟 <input type="checkbox"/> その他()			
適応分類	<input type="checkbox"/> 初発 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 術前補助 <input type="checkbox"/> その他()			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1, d8等)
1	rituximab (リツキシマブ ^{BS})	375 mg/m ²	div.	d1,8,15,22
2	lenalidomide (レフラミド ^レ)	20 mg/day	p.o.	d1-21
3				
4				
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6)			
ガイドライン文献名	レフラミド ^レ 添付文書 J Clin Oncol 2019;37:1188-1199.			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	減量基準は添付文書の記載に準ずる			

プロトコールに関する解説	
<p>プロトコールに関する解説はありません。</p>	

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
B細胞リンパ腫 再発難治 R2(リツキシマブ+レナリドミド)療法 C1		28日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
d1-21	レブラミド 20mg	p.o.	眠前または 夕食後2時間
d1,8,15,22	カロナール 400mg, d-クロルフェニラミン 6mg リツキシマブ開始30分前に内服 1) 生食 50mL(プライミング用) 2) リツキシマブ BS 375 mg/m ² + 生食* 点滴開始30分前にカロナール錠200mgを2錠とd-クロルフェニラミン塩酸塩徐放錠 6mgを1錠内服。 最終濃度は1mg/mLに調製 ** <初回投与> 投与速度50mL/hで開始し、毒性が認められなければ、30分毎に50mL/hず つ増量(最大400mL/h) <2回目以降> 投与速度100mL/hで開始し、毒性が認められなければ、30分毎に100mL/h ずつ増量(最大400mL/h) 3) 生食 50mL(フラッシュ用)	p.o. div. div. div.	- ** 5分
プロトコール 適応時 表示コメント	d1-21 レブラミド20mg/d p.o. リツキシマブ開始30分前にカロナール400mgとd-クロルフェニラミン6mg p.o.		
照射併用時 照射線量			